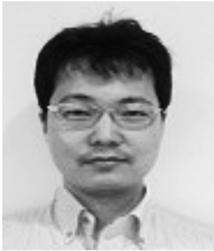


技術士 2次試験に合格して



鎌足 俊輔
(かまたり しゅんすけ)

勤務先

三井化学株式会社

研究開発本部 生産技術研究所

〒001-0021 札幌市北区北21条西10丁目(北海道大学派遣中)

TEL 090-1459-9985

E-mail Shunsuke.Kamatari@mitsuichemicals.com

■ 専門：専門：化学部門(化学プロセス)

1. 自己紹介

私は北海道札幌市出身で、北海道大学大学院 博士前期課程修了後に三井化学株式会社に入社しました。最初に配属されたのは京葉工業地域にある三井化学市原工場で、コンビナートの現場エンジニアとしてキャリアをスタートしました。3年半の実務を経て、2018年12月からシンガポール工場に出向し、現地エンジニアへの技術指導や新規技術の導入に従事しました。2022年4月に帰国し、千葉で研究員としてカーボンニュートラルについての生産技術開発に従事した後の2023年4月から北海道大学に派遣され、同時に博士後期課程にも入学し、企業研究員と学生という二足の草鞋を履きながら研究生生活を送っています。

2. 技術士を目指すきっかけ

私の勤務する化学業界では技術士は必携資格とは言い難く、社内でも技術士保有者は数名です。そんな私がなぜ技術士を目指したのか、記憶をたぐりよせながら時系列で記載してみようと思います。

私が技術士一次試験を受験し合格したのは大学時代でした。なぜ技術士を受験しようと思ったか、志望動機は今となっては忘れてしまいましたが、大学での専攻である化学以外、特に安全工学についての勉強は新鮮だったことは記憶しています。その後、大学院を経て就職後に技術士会に入会しました。

二次試験を目指そうと思ったきっかけは、千葉県在住時の2022年に青年技術士支援委員会に参加させていただき、若手技術士や技術士を目指す皆様と交流させていただいたことです。それまでは、業

務必携資格ではないこともあり、二次試験に向けてのモチベーションが高くはありませんでしたが、実際に技術士や技術士を目指す皆様の技術に向き合う姿勢や考え方に触れて、自分も技術士を目指したいと思うようになりました。

3. 二次試験について

私は母数が少ない部門で、周囲に相談できる先輩がいなかったため独学でした。そのため、合否は運次第です。先輩技術士が周囲にいらっしゃる方にはお薦めしません。

私は、過去問を解いても、アドバイスをいただけない方がないため自分の回答の正否がわかりません。そこで、過去問は眺める程度として、日常業務を活用することにしました。二次試験は論述なので、「簡潔か」「題意に沿って回答しているか」「誰が読んでも同じ意味か」などが重要と考え、日常業務(たとえば報告書作成など)で論述力を磨こうと考えました。上司からの指摘を試験採点者からの指摘と思い、自分に不足している力を磨きました。ただ、最後は運で、今年度は業務内容と全く同じ範囲が出題されましたので、合格することができたと思っています。

4. 今後の抱負

技術士になったことは、ゴールではなく新しいスタートと思っています。これからは、技術士としての看板を背負って業務を行うことになりそうですので、その名に恥じぬよう、今まで以上に新しい知識の習得に励み、自己研鑽を怠らないようにしようと思っております。